

会議議事録

会議名	令和5年度 第1回教育課程編成委員会
開催日時	令和5年6月20日（火） 14:00～15:30
会場	中央工学校附属日本語学校 5階
参加者	<p>委員 坂本 敏、佐藤洋子、渡来純如、上野弘道、長谷川龍太、對馬由希子、 笹井利浩、溝口健太、川口貴之、（欠席：榎本 修）</p> <p>陪席者 関野格至、小林憲司、佐久間恵子</p> <p style="text-align: right;">以上 12名</p>
会議録	<p>1. 開会挨拶 座長の坂本敏校長から開会の挨拶を行い、教育課程編成委員会を開会した。</p> <p>2. 状況説明（職業実践専門課程・学事概要） 坂本校長から「職業実践専門課程」の認定状況について説明があった。 ・ 専門学校（専修学校専門課程）における「職業実践専門課程」の認定等（令和5年度）について（配布資料参照） ・ 学事報告等（概要）について（配布資料参照）</p> <p>3. 運営報告・運営計画について 坂本校長と佐藤洋子委員から令和4年度運営報告及び令和5年度運営計画の説明があった。</p> <p>（1）令和4年度運営報告 ・ 学校運営 ・ 教学運営 ・ 動物管理運営 ・ 施設・設備の改善・整備 ・ 広報活動の基本方針と成果等</p> <p>（2）令和5年度運営計画 ・ 建学の目的と教育方針 ・ 運営方針及び運営重点項目 ・ 教育指導内容及び教育運営の充実 ・ 教育設備機器等の整備 ・ 就職指導體制</p>

・広報計画等

4. 具体的検討

令和4年度運営報告および各学科の教育運営に対して必要な検討を行い、今後改善を要する案件や意見が挙げられた。主なものは次の通り。

(1) 愛犬美容関連科（愛犬美容科・愛犬美容研究科）

・生体販売、トリミング事業を展開している企業で、新卒者の採用について、最近の傾向として、ゴールデンウイーク明けから6月にかけて、離職する新卒者が見受けられる。コミュニケーション不足から、上司や同僚に相談せず退職を決める、さらには退職代行業者を経由して退職する者もでてきた。以前であれば、業務終了後に店舗、組織単位で飲食の場を設けコミュニケーションを深めることもできたが、現在はコロナもあり、また労働組合におけるハラスメントにも影響してくるため安易に誘うことはできない。壁に直面したとき前に進めず、社会人としての経験を積む前に退職の決断をしてしまう若者が増えたということを感じている。

・運営計画の7.（3）動物共生関連科イ①コミュニケーション能力及び社会人力の向上とあるが、愛犬美容関連科でもカリキュラムがあれば教えていただきたい。

⇒動物共生関連科では動物共生環境コーディネーターの資格取得のカリキュラムがあり、知識、技術、技能の習得のみならず、人の話を聞き、咀嚼・分析をし、フィードバックすることのできる人材育成のための授業を取り入れている。愛犬美容関連科のカリキュラムとしては、企業研究という科目の中で、卒業生を招聘し接客を含めコミュニケーション能力の向上を目指した授業を行っている。

・人が苦手だが動物が好きでトリミングをしているという学生が多いと感じるが、トリマーは8割以上が接客業であるという自覚を持つ指導を在学中にしていきたい。

・トリミングサロンではスピードトリミングに力を入れ始めている。トリマーの自己満足ではなく、犬の負担軽減のためスピードを意識してトリミングをしている。学生にはインターンシップ等で複数回足を運んでいただき、就職する前に学校と現場とのギャップを体験していただきたい。

⇒インターンシップをいかに活用できるかが重要であり、互いのミスマッチがないようご提案いただいた通りにしていきたい。

(2) 愛玩動物看護科

・学事報告の、令和4年度退学者の主な退学理由についてお伺いしたい。

⇒ほとんどはミスマッチによる進路変更である。教員に相談する前に保護者了承の上で退学を決めてくるケースが多い。また、動物看護系については、学力不振が発端で不登校となり、進路変更での退学者もいる。その他、友人関係やメンタル面で不安を抱えた退学者、休学者も少なからずいる。

- ・企業側でも早期離職防止に向けてフォローアップの場を設ける等、対策を講じる必要がある。

- ・来年の愛玩動物看護師資格取得率の見込みについてお伺いしたい。
⇒現3年生の入試状況で見ると、例年より高い水準で選抜され入学しているため、学ぶ意識の高い優秀な学生が多いと思われ期待している。教員がどのように学生のモチベーションを保ち指導していくかがポイントになると思われる。

- ・人前で話しをし、プレゼンができるような人材の育成をぜひお願いしたい。

⇒学生が体験できる場として、企業様側でもボランティア活動など機会の提案がありましたら、ぜひお寄せいただければと思います。

- ・動物病院では、コロナ明け、売上が下降気味であると感じている。

- ・当院の国家資格合格者の中には、長年勤務している動物看護師も含まれ、周囲の励みになっている。

- ・動物看護師の勉強会及び、獣医師、動物看護師、パートタイマー等の分業化を図ることを検討中。

- ・現場の要望としては、老犬介護についての知識を学んでほしい、挨拶や電話対応をはじめとした基本的な接客マナー、クレーム対応の仕方についても授業の中で取り入れていただきたい。

⇒カリキュラムの中で検討していきたい。

(3) 動物共生関連科 (動物共生研究科・動物共生総合科)

- ・特別養護老人施設のコロナ禍の状況としては、動物介在実習の受け入れはここ3年ほど中止していた。コロナ感染症が5類に移行し、世間一般及び行政は緩和の方向に動いてはいるが、高齢者施設はまだまだリスクがあり、徐々に緩和をしているという状況。7月まで職員の定期PCR検査は継続していく現状である。

- ・介護系の学生の実習、ボランティアの受け入れは、安全対策を万全に行い再開した。今後は動物介在実習の受け入れも再開予定であり、打ち合わせ等の連絡をいただきたい。また、学生自身が陽性者かもしれないという意識を持っていただき、安全な受け入れができればと思う。

⇒現在、共生系の学生は、幼稚園や小学校でAAEの活動を行っている。ぜひ年内中に当該施設でのAAAの介在活動の受け入れの再開もお願いしたい。

(4) 各学科共通

- ・現在の合同企業説明会の状況について、学生数に対して参加企業数が少ないと感じる。
⇒一同に会して、企業説明会をするということを学生に意識させる場として開催している。また、本校開催では校舎・施設のキャパシティに限界もあるが、参加企業を増やせるよう検討はしたい。
- ・獣医師会主体のリクルート活動について検討中。
⇒学校側でも可能な範囲でお受けしたい。
- ・マクロ経済の部分で、日本経済が大きく変化してきていると感じている。これまで2025年プライマリーバランス黒字化を目標に掲げていたが、新しい財政規律のあり方を検討しなければならないという話を聞いた。物価だけではなく持続的な賃金上昇が無ければ金融政策を維持していくことになり、日本の経済は良くなっていく可能性があると思われる。
- ・学生のうちから期待値ギャップを埋めていけるような実習等での経験をさせていただきたい。
- ・獣医師会ではワンヘルスの視点で様々な活動をしており、人と動物が自然環境の中に存在し、自然環境そのものが健全でなければ私たちは最終的にはしっぺ返しを食らうことになる。広い視点で考えられる学生、人材育成のためにも、ワンヘルス的な考え方があるということを受業の中で伝えることにより、学生が社会人になったときにワンヘルス的な考え方は当たり前になり、自分の仕事の価値というものがどこにあるかということも見えてくると感じた。最終的な私たちの仕事というものが、何を幸せにするためにあるのだろうということを技術の部分のさらに先のところまで、社会全体まで広がっていけるような視点で教育をしていただけるとよい。
⇒授業の中でも、可能な限りワンヘルスに関する教育に取り組んでいきたい。

5. 次回委員会開催連絡

次回の委員会を、令和6年1月23日（火）14:00～15:30とする。詳細は後日連絡。

6. 閉会

座長の坂本敏校長から閉会の挨拶があり、教育課程編成委員会が閉会した。

【配布資料】

- ・教育課程編成委員会 令和5年度第1回委員会 議事次第

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・令和4年度運営報告・令和5年度運営計画・学則（令和5年4月～）・学習の手引き（履修便覧）2023年度・教師・保護者用ガイドブック2024・学校案内書2024・職業実践専門課程関連資料・学事報告等（概要）・参考記事資料（Wan 7月号 抜粋） |
|--|---|

以上